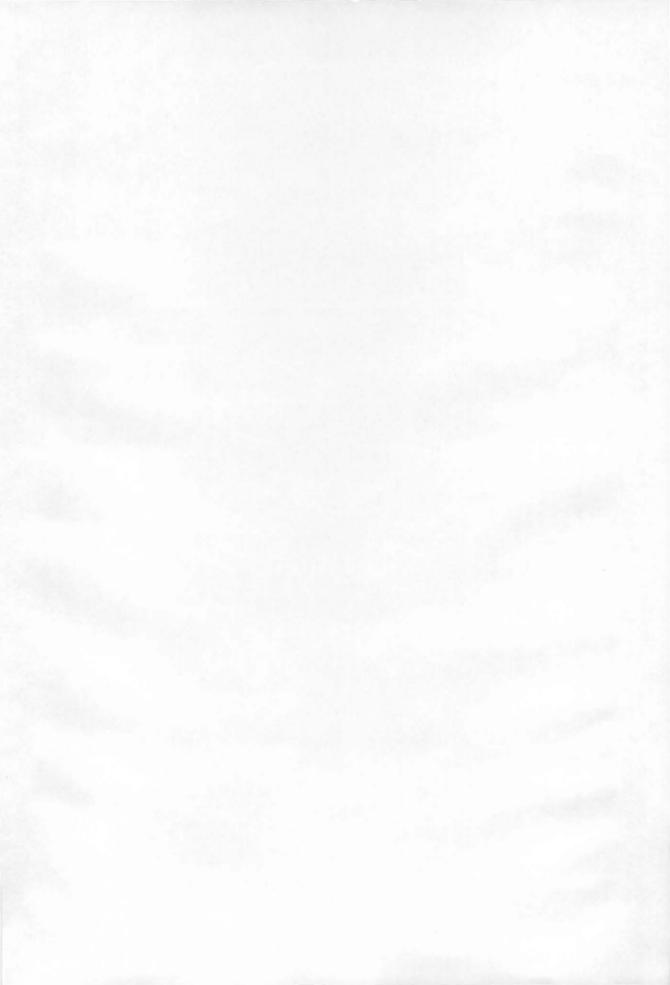
狭山市文化財調查報告VI

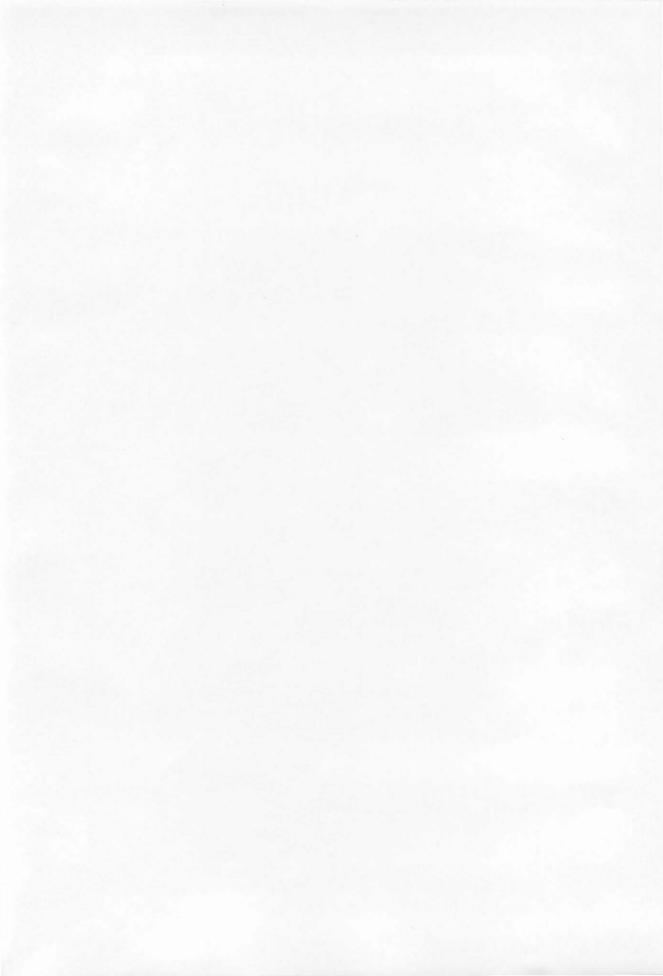
快山市の青石塔波(校碑)

山市教育委員会

狭







狭山市の青石塔婆



狭山市上奥富三五八

堀越太郎氏宅

五四 П は序例 絵 ľ 言 (六)田(四)田(二)日 (九)(九)(六)(五)(四)(三)(二)(一) 日 種 板 め 板 本中世年号干支年表 子 碑板特板板 山板板板碑 弥 偈 丈量 Ė 及 富 陀 間 原 碑 殊 碑 碑 修 I 領尊 市 碑 碑 碑 2 地地地地地区区区区区区 真言 板 11 覧 な 造 と真 0 0 のは 0 0 0 尊 地 t 性格 消 刻 分板 確 板 条 種 布碑 # X 板 言 碑 件称 7 11 碑 とおこり 板 た 碑 1 名 堀 越 太 郎 116 118 117 氏 23 21 18 17 16 15 14 12 10 8 101 79 69 57 49 25 6 5 4 3

目

次

表表表表 図図図図図図図図図図図図図 义 6 4 3 2 1 表 35 34 33 32 31 30 29 28 27 26 25 24 23 22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 5 4 3 2 1 図 目 目 弥陀三尊の主葉 が陀三尊種子に が陀三尊種子を が陀一尊種子を が陀一尊種子を が陀一尊種子を が陀一尊種子を 狭狭狭狭次 現 板 逆月 偈光 市板板次 江弥 市 南 左 私 戸陀 右 年. 在 碑 修待 I 文明 山山山山山 内 無 内碑碑 時. 号 造立 を真 妙 市市市市 あ 13 板板 0) 0 11 ののの 代大の黒 刻言 大発形 型生状 大 内内内内 きり る市 法 板 刻 碑碑 んだ刻 刑 板の板板 蓮 砷 ま 板 碑大碑碑の型の調 内最 追天 華 n 碑 板 板 込 板碑を板 工尊弥陀 刻・ 経 4 た人名 板板 碑 碑 造立の推致事件別集計表 題がだけ (名号 (月待 古 2 板积 碑碑 1 迦 碑 0) 板碑ないで二条 を十 複 板 板 碑 最最 . なも広 推移 禅阿 月 月 日 号 な 合 碑 十碑 十三仏で囲 計 板 なし 14 表 い線 碑 1211 板碑 板板 板の 板む 碑 碑碑 砷

、場をかれる。調査が ある ま、青研、本石究本の書塔部書 考野団 た本平北清力内河中土 つ書塚田水員河村内史 道静丈研参り、に たの忠和孝 編、宏雄西夫代夫究加で関係 集広、中 に岡熊須学 富久 は謝者っ た写 尾保 次のにて は英木田校 ○ 、市言 間野神社御由緒調査、編集した独 一教育委員会が狭山 一教育委員会が終山 一教育委員会が終山 一教育委員会が終山 一教育委員会が終山 一教育委員会が終山 一教育委員会が狭山 一教育委員会が狭山 一教育委員会が狭山 の意御は `幸明功郷 久田 真、 彦、土 を協 中 信福 お表力板 、小部 造 内 りするた所 塙 清峰 丈 図の縮 博野 夫 水孝 。だ有 拓男 昭村 あ された。び る。 朗、 尺は不 内 査問さ 。四・しにる `加 狭山 河 增三 書川れ 七千て提も 山鄉 田郎 道 富藤 年和る。 を町た ī 市土 夫 田博 IF.



の社

幸

博

7

参誌同

の史

入間川 徳林寺

文 化 財 板 碑) 山の 市ま 教と 育め 長 市 JII 正 男

すめ埋間 るた没伝私 の消えらも しれの い文十 たことはと年内れ のにう民 大 'ちの 要 調特生 を査保板で活の と存碑中 めのにに `要つ 報をい長 告認てい

行た一なのる る刊しっ究 るを明くつ板六深 が信別一し立たに意め、 としと きに共表これめ 大きな深 しが多れて 等しを基ら義い義く あ習もて行の十の。なれ

> 仕愛る〈多土奪 多ばてこ知 多 あくのわとく `いの識わい 事すこ とつの流れもの明る小がれ こがた遺れ易す興白こ部 村 跡がいれ味にと分抽れ てに重と ``がばを証がの象の `社覚左 も要い潰文 層多なう物化広会えを遺土に般 こが史くはる示物の仏的 しを中教な 感の義と `的わ て語にな歴 謝示がを消にが現 < `1) 史 を唆あ `~ ` 国実 b れせ脈習資 棒がり後失かの的 るる々俗料 げ得 `世せか歴の こ努となか るら郷にぬわ史面 と力しりら もれ土真うりとの はをての得 のてを実ちを共み `加残流ら `理をに持にに 実えされれ あこ解伝 うつ `気 にれれがた るのしえかた郷を

深とわ中の

くした学は

感てつの、

申小の生山

し冊成方郷

あ子果で土

げをとあ研

謝

て先狭

から 現代のに 現 人関こ の連の 参考としる郷土にと してつら 肯いわ ても、 1+ 3 糸 広近 い隣 ٤ 視諸 な 野地 3 に方 ことも わの たったっ

調査で 三世に関する まれている はじめに 三発を見る 中 連初発市残 続期見内っ しかさでて板

は石に、 も、今回の調査、 も、今回の調査、 も、今回の調査、 を書いているのです。 を書いました。しかも、」 を選出時代あたりまで があったことを教えてくれることもたる。 で書などの資料と関連づける、 で表をより確かなものとし、、 で表をより確かなものとし、、 で表をより確かなものとし、、 で表をより確かなものとし、、 なるかもしれまとし、さらに新建づけることもあるでることに、人々のてこに、人々の

そして、板碑は中世の人々の信仰を知る上に欠かすことのできない大切な資料です。さにもなります。このように、中世の研究にとれたままになっており、中には散在しに任されたままになっており、中には散在しに任されたままになっており、中世の研究にとれたままになっており、中には散在した。しかも、多数の板碑が発見されていると同時に骨とうブームの影響などもあって消失したは間とうブームの影響などもあって消失したのできなわれ、多数の板碑が発見されていると同時に骨とうブームの影響などもあって消失したのできません。今回の調査でも、四十七年にあった「南無阿弥陀仏」の名号付板碑が消失し、みつけることができませんでした。しかも、この名号板碑は現在までのところ、市内で、これ一基しか発見されていないる。下内で、これ一基しか発見されていないる。下内で、これ一基しか発見されていない。 もろた碑十板になそ 放 の、。が七碑骨わしま置 で市し消年もとれてす内か失に少う、墓

今 Ī 0

Ш 市 0) 青

石 塔 婆

板

1 うの研告 配々のは 調査では、調査では、これのでは、これ に覧 7 理解してもにするとともに らに後 ž 0)

は、 とく 次 0

碑も かを一基で 3 でなく、 残 べさず に破

乱す。年、 造立 趣

の人々に、板碑 にで、今回の調しました。 大きさ、市内の は、記録する。 し、記録する。 たきさ、種子 でるだけ正確に、 をはっきりゃ 発見された場所をできるきりさせるとともに、も確に記す。

だと

そして、今回とに注意しまし 一、美術的にすい 一、美術的にすい 片も含めて、市 調査し、記録すっ 二、形、大きさ、雨 をできるだけ正確 をできるだけ正確 もに、できるだけ正確 にしておく。 が見 にしておく。 る本味 もの取べて、 はっ写真 かおに なく。る 2 E ず

こう新しい板碑を発見すること、四十七年のときして1 とすか

5

げ で い用 ることか の日と るされ しかし 産 ら板 産ま名 1 本 が な ど な ど 二条線 切 碑〇 1 板状である。石製である。 の保碑のないていていていて かられ が 頂 けて親しみやすいて親しみやすの条件 の名称を用しては、ナ 多くに対保 立年字込部 弥陀種子 蔵地方 がやみ は 趣 あ画が三 山山 11 方 重生 やる像ある とん 石石 7 い審 11 b 11 ۲ は、すでには、とも れ会にた 。尖り、 半か あ て武 緑 泥板 b い蔵 ぬ地方ではま 片碑の ら用 121 次 b 7 1 0)

よう

なこと

かい

あ

青

石

II

緑

泥

一江い

し使代

しれた。 したで したす。

碑あ <

1

1) 7

っ。そして、日己の救済

後の

のめ

Π. ·

と般戸わでとにに時れ造ん と般戸わで

まわかいれが

ことも 傷 十され 3 その あ 11 . 7 3 梵は 下 た 紀い 字 È のな 尊 0 一条線 後い 真 かい 0 # 言 あ 0

特至 種子

(|2|1

光明

遏

照

十方世界

弥陀三尊種子板碑

3

45年铭

共產者铭

立り武全 武全 そ碑 以まえ 士国源のが中上い、 L 常 され梁 発命 面 戦 ○発現終世 ○見在り紀世 そし 鎌すに景年さ、の南紀数ます 倉るあは間れ武桃北初多す自 7 い続 造立な きその時東っ 蔵山朝め た 7 し中代国た何 人の 国式でしょう。 はます。 大人に全を出した。 は、またでもしまった。 は、またでは、でもしまった。 は、またでもしまった。 は、またでもしまった。 は、またでもしまった。 は、またでもしまった。 い地時時のあ たを殺 7 この てでが武のだ す。 戦成 なす。よ鎌場立団したな 罪いう倉をしによのに 教がす 7 ど当をつに と時お死、 に幕かまようで多 、府けすっかし数 0 ú しを期 かぬ武がめがて、 よの 1: 万てむに のび新さか士成ぐ う。板 基しかは

のたの ま板てたた逆とな々市供板 り碑らもめ修、お」内養碑 のに は碑存板銘 あ `中碑 文 すににを板的石 な自は刻 わ分故 h ちの人だ、後のも た のなく安 追の卒卒供り 安善 な楽供 っを養り云のの 者たた願にま 人っ建 目にのて 7 「塔す 的造供建ても で立養ても

1

5

てらどす石す

て秩

い父

で板ま

婆

。塔がい

IJ

高上まに二大 板さ下たあ番里 伝塔輪のメの全寛は江国録に 会婆塔源 | 応国喜、南最三最 より転さるの より転ももの は、 でももののは、 ったし大導勢婆悲し方熊権政・ 武板か型い力祖劇たこ谷争権河 選出をおと刑事。そ・蹇姻越 00 行 の瀞い小 こ谷争権河 地荒一板は で町ま学七玉県で野す。 蔵状も母来 大と、が と 大と、が と 大と、が と で そ・奪城の 方を沿年の初 場に

塔五 経輪 re 4 7 額 n U B 34 (千々和実「板碑源流考」より) (122)

で現速発

い週の子首条ツ記。転量長貴板当完を部のトスそ化産足族石な全主二羽(しかした) ようせろ 二羽へしれしは五のでんな板 塔石な尊条刻宝、はた簡輪熱で 塔石な尊条み珠首主千略型狂 さ状しとを・部尊本化塔的 `がの 流へ出ゆこ岩山がいのる、さ状しとを・部尊本化塔的 考千現るに、地しう最地即えの、合付請に種塔を婆な 今あ祖 こ考千現るに、地しう最地即えの、合付請に うし、地しのも盤ちと塔首流して、 し日和た碑石石豊すが適が板と姿部して、 し日和た碑石石豊すが適が板と のつ刑 子婆誘に大 とてが こは生 発とに板て本実のな塔で富武板なののにた、返輪に登板を 見ん広碑、歴「でる婆、り緑蔵状石る発ば現条で良」と きどがは関史板あもい、泥秩に材。生、は線あ時では れのり、東)碑るのい、泥秩に材。生、は線あ時で 五りた 輪 源しがわこ片父はとそすそ `をる代簡の旨 転たの

家人たちが、その土地にあった石材で板碑を者として、各地に下って行った鎌倉幕府の御います。それは守護や地頭、あるいはその従

(注2) ったものと考えられてい ます。

、板碑はどのような現われ方をしているでしょうか。狭山市の板碑

狭山市内板碑調査集計表

昭和五十一年(六月末~九月)

項

名

ノ間

入

入

佐

三ッ

奥

奥

田 中

X

木

Ш

曾

曽野

兼

柳

志

木富富

原

瀬

岸

井

B

入

峯

北 10

南

水

堀

下

広

400	10	20	30	40	50	60	70	80	90	1500	10	20	30	40	50	60	計
2	3	5	1		1	1		1	1	1							123
2	1	1			3	1	1	5	4	1					1	1	81
								1					1				2
2						8											9
1		1 三四															7
1				1									อ				5
						2(1)	(1)	(1)	(1)		() (1	તે. nu	σ+ <u>=</u>	31/4		9
2		2			3	5	2	2	1				1			1	5 9 28
																	9
		1															9
						1		1									2
													1				1
						1		1					1				3
	1				1	1	1	1	3								9
					1	1		1					1				_
3	2	1			2	1	1	4	1								34
3	1	1															62
		1			1												16
		1	1	1	1			2	4								18
1		21	1	1		2	2	3	1	1					1	1	32

入間

川

町誌記 年実

載

数 数 数 数 数

3. 4 4 4 5 鵜

46 58

同 兀 五 総

五 六

年 調 調 基

実 查 查

查 基

3 5 4 6

3 3 3 3 沢

7

8 8

2 2 13 13 青

3 3

22

13 17

23

14 14 28 29

81 124 32 49 172 191 341 375

年 年

61

基

81

9

(1)

1 1

4 4 加

27

26 30 F

82 31

> 3 3 根

24 25 笹

22

8 9

3 3

3 2

96

22

27 東

90 柏

同

五

查

数

30

尊

弥

陀

画

像

弥

名号(南無阿

(45)

5

2

1

9

大 日

31 t

多

陀

弥陀三尊和

13

2 3

1 1

5 3

2 2

(1

6 7

7 9

25 26

4 13

2

7 9

2

2

37

7

2

3 4

狭 山 [市内板碑 の年代別 集 計

次の表1・表2は調査結果を集計

(計は年紀の不明なものも含む

人	人夕	人		名	天	花	Ξ	追	逆	待	集	偈	頌	真	言			主	
名最下端	人名を高くかかげる	禅尼	禅門	阿号	蓋画	瓶画	具足	善的趣旨	修	供養	団造立	その他の偈	光明遍照偈	その他の真言	光明真言	地蔵れ	十三仏	題目(南無妙法)	釈迦心
11	7	10	3	9		1		3	8		1	3	1		1	5			1
11	/	10	1	9		1	_	3	0		1	3	1		1	5			1
1			1		1		1			1	1		1		1				
2		2			1		1		1	1	1	1	-	1	1		1		
2		1	2	1					2						1				
	(1)																		
1									1				1		1				2
4	6	1	5	1	1	2			3			1	1		5		3		2
1	2	3		_		-			2						1				
2			1						2				1		2				
8	7	10	4	2	1	3	1		10	1	1		2	1	12		5		1
3		1	1	1		1							1					1	
3		1		1					3			2	1		1				1
4	1	· 1	1	1		2			2			1			2				
42	24	30	18	16	4	9	3	3	34	3	4	8	9	2	28	5	9	1	7

CC 1		

項	目	_	- 1	F 代	1240	50	60	70	80	90	1300	10	20	30	40	50	60	70	80,	90
	弥		它	形織		1		1	2	1	2	3	5	8	4	5	4	3	6	7
主	2/1	74-Rm -	三尊	福 西西					1	3	3	6	4	7	3	4	3	3	1	4
	陀	弥 阝	字 它 画 号(院)	像																
		名	号(附	[] ()													1			
	大									1						1-				
	釈	<u>迦</u> 目	reto Am	Æ		_		_		1		1			_	三脚	_			
尊	題		(連華	経れ		_			_	_			_	_	_	_			1	1
	地十	薦		<u>n</u>	-		_			_		_				_	_	_	_	1
111	+		E 真	1仏				-					-			0	1	-	-	
光	光	明明		偈			_	-		1	1	_		1		2	2	2		H
偈頌	そ		量 照 の			_		\vdash	_	1	2		1	1	-		-		-	
結	(0, 1	<u> </u>	衆		-				1	4	-	1	1	-		1			\vdash
		往	/ #±						-			-	-		-	-	*	-		\vdash
月申	_	待	供供	養養足											-	-		_		\vdash
Ξ		具		足											1					
花		瓶		画									\vdash							\vdash
天		蓋		画																
逆				修									1	4	2	1				2
法		名	な・	L				1	5	4	3	10	5	6	4	4	4	3	4	4
[FIT]				号									1		2	結型 1 2	2	,	2	Г
禅		門		号									1	4	-	2	4	_1_		
禅		尼		- 号				_						-	1-1-		1		1_	-1

表 2



チ以上)を示した 次の表3は、末

市内の大型板碑

(幅三五セン



画像 申待供養板碑最も幅の広い板碑

柏原 奥富きく氏宅裏山



市内の大型板碑 (幅35cm以上)

			17170000000000000000000000000000000000	(пшос		/	
	地区	所 在 地	主。 尊	幅 (cm)	高さ(cm)	厚さ	年代 (西暦)
1	柏原	奥富きく宅	弥陀画像板碑	47	97 (上欠 下欠)_	2.3	不明
2	柏原	神官墓地	弥陀三尊板碑	45	142 (下欠)	4	永仁 5 (1297)
3	入間川	中央公民館	弥陀—尊板碑	45	131.7 (下欠)	12	なし
4	沢	天岑寺	弥陀一尊板碑	43	87(上欠 下欠)	3.5	康元2(1257)
5	東三ッ木	薬師堂 うら墓地	弥陀主尊板碑	42	90(上欠下欠)	4.5	なし
6	- 11	薬師堂	不 明	40.5	破片	2.2	不明
7	沢	天岑寺	弥陀三尊画像	40	131 (下欠)	4	文明14 (1482)
8	柏原	永代寺墓地	弥陀三尊板碑	39	(下欠)	4	永和4 (1378)
9	沢	天岑寺	弥陀一尊板碑	38	(下欠)	4	乾元 2 (1302)
10	上奥富	堀越 太郎氏宅	弥陀三尊板碑	36.5	152	3	不明
11	入間川		弥陀大黒天釈迦	36.5	127.5 (下欠)	4	元亨 2 (1302)
12	11	徳林寺墓地	弥陀三尊板碑	36 .2	(下欠)	4	永仁 5 (1297)
13	入間川	慈眼寺	名号板碑	35	67 (上欠)	4.4	康安 2 (1362)
*	上広瀬	山崎忠男宅	弥陀一尊	上22.5 下35	78	上4	なし
	"	山崎忠男宅	弥陀一尊	29 (下欠)	57	8	なし

表 3



五 年弥陀三尊種 子 板碑 柏原 宮 本家神官墓地

永仁



市 内

大型

板 碑 2

(12 5)

で角のは小ら朝き消こ 板種柏像富 し田も、板一のな滅ろ時碑子原板き市れる た氏の入碑四お板しと代(板の碑く内まと 氏の入碑四お板しと代(板の碑〈内まとて。確けにかこの司、な。の内 宅に間が二わ碑て、で紀碑宮で氏ですきいそ実て、っれ弥、文どし弥で の小川多〇りがい戦み元と本、宅最。にるれない幅たは陀宮字のか陀最 は板のく年かみく国る銘狭家幅のも一はもに測たのと、確徳みこらら直時とな山袖四車幅注、の対定り広里 碑徳みこらら直時とな山神四裏幅注 、し市宮七山の3多がしの、 鎌)中墓セに広)く多てで地 十が林らろ室れ前代 八多寺れ 一町まのに鎌 基くとまにのす待な倉で央地ンあい 。供るか四公のチる板 すみ子す `初 べらの。幅期そ養前ら五民永も十碑 てれ神さ二へれ板 南セ館仁 あ五は まのら○一に碑す北ン所五り世 ○す角にセ三対造な朝チ蔵年ま紀柏 `ン八し立わにでののす程原 ンと惣地チ○てのちかす弥弥 °OF チく治域以年、頃板け 陀陀つ申宿 以に氏的下代南に碑て ぎ待の -- -: 草草は画奥 `宅にのか北大がの

大す七社い紀ま氏 さみ保ましは 。一宮て つす て欠次き T の対定り広思 が尊家読字 の、されけ子地をかかる で地をれけ子地をかなを を中みまて板にもかな板碑 て、 まて板にもかな板碑は L. 。幅なにた 。りでるでまらで のそのいさい 永はせ表一上 幅れ方もしと 実 のではの込思 一仁 、ん面五奥 広板ももまい に四五柏 。が一富 さ碑とかれま 二年原形はセの がののなてす セへのがげン堀 もン一白整てチ越 基丈広りい っチニ髭っいあ太 とで九神ててり郎 (146) (|x|3)

(国 5)

([3]4)



のそ 弥内が陀 木ま わ付神一し 庶のな陀側種を野、しまれがの基て 民下おのに子配々そたた方四角発、 、大はで置宮しが、を基田見事 倒す陀てあ板弥基 。のいり 碑陀 まれがの基て釈阿的 2 種ま、など `な三り尊(二) 迦弥な 仏他 陀比の 多での 神て社柏 下光 尊弥 刻 34: 少囲も の次段は列 7 付陀阿た `社柏入 その原曽 キリ い形みの 仏い蔵 てのものの板ます と式を て は明随 て、大日(、大日(・南・本 ・本 ・本 ・本 ・本 が、ます おれれる名がます。それ 東言で囲ま 中央に言ま ではまま い異尊弥 々は 2 7 まし合三 基・専付 寺宮、 宮 のうち 九 す 無蔵へも も付と ○る南和破 た月 であ わ尊 て待円社内 パも無 こすせの り 碑に 法 7 b 節具れがし二板光 の河泉 て刻 蓮一 大セが弥 のがて て列碑寺堀九 種 陀され 分 、にでに兼基 特基入華が子 ン二陀弥め トー仏陀て 彫ながいま 形 どおまれ 十十主あの発 色中間経五付 三弥 三二草り東見 を六の・占基名を 十九仏陀 は あ 川 7 十かす 基が 仰 一九、名、 °種仏のにま三さ る大子付 `九 三もとの がい 子の仏弥す 仏十な輪 ツれ 現日のがそ基 圧ま弥め (図9)(図10) ([2]12) (図8)(図7) (図11)



光明真言を刻んだ板碑

柏原永代寺



下の欠けていると 光明真言が刻られている ([X]13)



真言が刻まれている

月待・

十三仏板

([2]14)

([2]12)

おいていることから、真言が、この地域のものは、いず十三仏を表したものが多いなお、一般に真言宗系の板 といえるの でしょう 言ずれと碑 系もいには か まそのか門 てら 浄尊れ光 真 土にて明信弥い真 °後らし 言 いれ ます。 禍るこ真 数現 から 仰陀ま言 刻 はわ

十三仏信仰とは、死るとき、その年忌に配てくるのは十五世紀の後半にないますが、市内ではれていますが、板碑に刻まれた声の真言を刻んだいることになります。多数が光明真言は不空羂索毘盧「光明真言は不空羂索毘盧「光明真言は不空羂索毘盧」によって、仏の光明を得、もろくことができると、、 原 0 基をみ六北のた善 あみ、○朝信十の 永 か二も割 りるみ年の仰三法 寺 12 2 b 大を 11 ([2]13)

の誦大

罪す灌



のてばり典

ます。

信仰をいたか



今笹

此井

華我地無生衆 量者生

寿

浄

士:

欲

生

我

围

鳥

入間川

慈眼寺

同柏

根荷山

バ下



(||15)

経一

方乗

便法

第二亦

天台

鳰

宗

品

磨

喻其

品第三

天台宗

無常明 光寺 涅生 華有

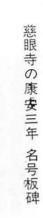
製経 法 第三 滅 R 禅寂

は、種子や願文の外に、経典なら抜き出した偈文を刻んだものがありまったとして、この偈文を刻んだものがあります。 一般にどんな経論が用いおこなわれて一般にどんな経論が用いおこなわれています。その中で「光明温発見されています。その中で「光明温がからとった浄土教関係の偈が九基とだいたい各地域からみつかっています。 市内で発見された偈文には、次のようます。 墓原三林(十大) 塞地、下広瀬 禅竜志 原 永代寺墓地、柏原 二ッ木茂家墓地、 柏原 林寺、沢 天岑寺 林寺、沢 天岑寺

には、次のものがなの傷が九基もあり、不捨」という観経専門で「光明遍照、上中で「光明遍照、上中で「光明遍照、上中で「光明遍照、上中で「光明遍照、上中で「光明遍照、上野中で「光明温照、上野中で「光明温照、上 **海**土宗 あ 真十基 (図15)

14 -

造立 碑 安三 年





野 Z 宮神社 仏 待 板



([2]17)

([2]18)

の申い市法刻阿寺造 み十女彦ら五性二 音明中で三わ五 で待ま内名ま号に立基市 `具しセ高○ら五性 は、ややや中央向きなが、ためられて、これらに 一郎」など苗字の 一郎」など苗字の 一郎」など苗字の 一部」など苗字の 一部」など苗字の 一部」など苗字の 一部」など苗字の 一部」など苗字の でして、これらに でして、これら でして、これらに でして、これら でして、これら でして、これら でして、これら でして、これら でして、これら でして、これら でして、これら 数れのあ板、内(四) もがて法っ碑交の 一他つわい名たが名板集 基のというは、 をで三もらす。 に、基多なで、 というなで、 といるで、 といるで いは数い上て年れだで板 でである。 でである。 でである。 でである。 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 でででする。 ででは、 ででする。 でです。 でです。 でです。 でです。 でです。 ででする。 でですででででです。 ででです。 ででですです。 でで ず `のの部 ¬のても れ月人はが弁名いの結 を待の長陀香端ン碑し民す 向、三方三炉にチ、 の勢条形尊、日、 て間。節「 い信す子三 `をがい十は間四の 、て八、川基あ 後申し 半待めこ正人数ののる て至線の来燭月厚 ま仰な」 郎 いとの枠迎台をさ すにわな四 のへしれ確し名慈集も ま観光の図の表四 も庚てがなとの眼団の ([3]19) ([3]18) ([2]17]

入本即一東 間地成切三 川信仏衆ツ 仏上生木 眼大 , 排 寺日入 如間□根 来川率岸 都明 界林高 得間 知川 惠德 林 块

([2]16)



逆修板碑



信立

上広瀬

逆修板碑

([3]21)

([3]20)

(国19)

さ板修死 るおまれ碑す後逆もよ市 下段の文字の読める。 下段の文字の読める。 下段の文字の読める。 下段の文字の読める。 下段の文字の読める。 う文字がなくても、 めち根生 まれも が、対領領 月 1 ての 立修をめ 11 ([2]20)

(図21)

は、次のように説かれてありま をもに、次のように説かれてありま 行者見おわりて、歓喜」は金剛の台を 造ともに、行者を讃嘆して、その では、これを建てたのは、その では、これを建てたのは、一人 に次の銘文が刻まれています。 では、これを建てたのは、さん行者の 道 慶 助四郎、彦二郎、五郎よの では、これを建てたのは、さん では、これを建てたのは、さん では、これを建てたのは、さん では、これを建てたのは、さん では、これを建てたのは、その もあ では、これを建てたのは、その では、これを建てたのは、その もあ では、これを建てたのは、その はおそらく庶民のものでしょうが、その はおそらく庶民のものと思われます。 真言の内側、前机の下のは、どんな人たちだい、これは、また、板が、これは、また、板が、これは、また、板が、これは、また、板が、これは、また、板のは、どんな人たちだのは、どんな人たちだのは、どんな人たちだのは、どんな人たちにのは、どんな人たちにのです。 、その心を勧照し、諸々の れます。で、僧に °他侶 のか 人又



代た

人名(注6)

理

す

3

刻すの一く十ほか まが名三の四とら市表板 たの生立れ、号六板世ん十内②碑 、へにしてそ板○碑紀ど四にのに 板と及たいの碑年にかあ世、よみ `よみ(六) 碑変ぼ者ま他に代人らり紀板うら はなが、 ではされているとは、 がはいれるは、 ではながが、 ではながが、 でもの数では、 がのもの数では、 がのれた。 でもとして、 がのれた。 でものが、 のれた。 。 のれた。 のれた。 のれた。 。 のれた。 のれた。 のれた。 のれた。 のれた。 のれた。 のれた。 。 のれた。 のれた。 のれた。 のれた。 のれた。 のれた。 のれた。 のれた。 。 のれた。 のれた 。 時れ

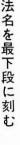
るが生た こ、安めこ すり はれ中 三にに前れが待 あし己逆す後結 、供板金の板 さ逆 善にせのつ団 音的建て、板て造立 で進立 れ修生 た板存死 時だ○ 期板年 も碑中者 のとにの と碑代 がが、追 ほがか 記したものと思 とものと思 となります。 と を を が 生存 ぼみら 数あ自善 ーらー 多り分供 まる後の 致れ四 しま九

板 神に

人名の刻まれてないに刻まれた人名

板

七曲り井より出土 北入曽 野々宮神社



々宮神社



法名を中央に堂々と刻む 東三ツ木 三木家墓地



にう 区ち破 别年片 つ紀も て銘含(七) みのめ るあて板 とる、碑表も市の の内消 のように大のように大の一八二基本 るよう 基を、基数に なり 年基、

かく 化ら堂し 傾供とが下名か五 向養刻、段のり世 も塔む十に位

も四小置 いく中まと、 いたも に墓標は に墓標は ころかい が的すらの世 な。、が紀むこ中は前 のの央と半 (図26) (1325)

0 ような法名を刻んだもの [] よう 一四世も尼 示かきますることはできまれている イ観無量寿経)の 名号板碑に数名の を通じてみるに、 を通してみるに、 をありましてみるに、 であった。 でありましてみるに、 でありましてみるに、 のがみられます。尼」「性阿弥陀禅紀後半から十五、阿号から禅門 後阿が阿 化は、 阿かか多が 弥らら数多 十禅をく五門占 (図23)

(図24)

- 18 -

が、紀、宗わ十ま板信

法阿刻名

えます。

り、仏

南

[in]

狭山市内の板碑造立の推移

	入	入	堀	奥	柏	水			板				码	3				娄	Į	
	閆	80	-14-	-	-		=1.	1	2 3	_		6	7	0	0	10	1.1	10	12	14 15
1050 (2# E2 T=1)		[首]	隶	虽	原	邑	āT									り記述が		12	13	14 13
1250 (建長2~正元1)	1				1 2	_	1	•	+		1	11161 90	1-157	5 364	94 0	1				$\overline{}$
1260 (文応1~文永6)	1	1		_	1?		2	_/	\equiv		1					i				鎌
1270 (文永7~弘安2)	2	1	-	_	1	1	1		世	_						ŀ				倉
1280 (弘安3~正応2)	3		1	1	1	1	6					>				i				后
1290 (正応3~正安1)	1	_	1	1	1	-	4		紀_	_		_	_	_	_	+	_			時.
1300 (正安2~延慶2)	2	0	,	2	2	2	8		1		- 1				_	+	•			14
1310 (延慶3~元応1)	4.	2	1	1	2	1	11.		+		J					i	4	_		代
1320 (元応2~元徳1) 1330 (元徳2~延元4)	5		1	.1	3	2	12									i			\	<u>_</u>
暦応2/	5	1	1	3		5	14		四		1					1	_	_		
1340 暦応3~貞和5/	4		1		3	1	9									\leq	_			南
1550 観応1-延文4/_	6	1	2		2	- 1	12		世		- 1					1	_	>		北
1360 (正平15~正平24) 延文 5~応安!)_	6			1	2	2	11		П					_		$\dot{-}$	•			朝時
1370 (建徳3~天授5) 応安2~康暦1)	3		1		2		6					0		_		1				
Table (天授 6 ~ 元中 6) (天授 6 ~ 元中 6)	5				4	2	П		紀							1	•	_	_	代
1390 (元中 7 一応永 6)	6	3	3	1	1	1	15			_	_			_		_i_	_	_	_	\geq
1400(応永7~応永16)	\vdash	-		1	3	1	11		+							+				_
1410(応永17~応永26)	-				1	2	4			•	K	<				1				室
1420(応永27~永享1)	2		1	1	3	1	8		五		_		\geq	•						田丁
1430(永享2~永享11)					1		1	•								1				
1440(永享12~宝徳1)	1						1	•	_							Í				時
1450 (宝徳2~長禄3)	1	1	2	1			5		ш-		1					i				1+
1460 (寛政 ~文明)		2			3		5		<u>lu</u>							í				代
470(文明2~文明)			1	1	1.		3		•	<						ľ) [
1480(文明12~延徳1)	1	1	1		5		8									1				11/ In
1490 (延徳2~明応8)	2		2	1	2	1	8		紀				_	•	. >					戦
1500 (明応9~永正6)	2						2			_	-					T				=
1510(永正7~永正16)								/	+			ĺ				1				玉
1520(永正17~享禄2)								/				Ì				ı				n±
1530 (享禄3~天文8)					1		1	•	六							1				時
1540(天文9~天文18)							Г		世			1				1				
1550(天文19~永禄2)			1				1	•								1				代
1560(永禄3~永禄11)				1			1		紀							1				_
不 明	28	9	18	13	32	22	122	8 HD 7-	T to)	b i	80.0	MESE	(D):+1.	75 1- 3		- 1 00	er s	en es	E7 -+-	
	14	- 1		-	14			W-2011	してなく されてい				8933	166	5) つ	- 00)	1.	24111	-1661	
			-	-	90	_	_													



上広瀬、山崎忠男氏宅

([2]28)



天岑寺、康元の板碑

、昭れで、 つ和て

い四いも に十るっ

発六建と見年長も

る今板い

こ回碑板

とがこす。

き調し入間

せ査し川んに、町

でおこ誌

で度

す

との古

(FX|27)

消急大お四てとら 奥し激しり○、盛、表富 與内期あ尊 い大主と防 一 しいれに 一二五七)の 一二五七)の 大きさ、 であり、 でもったという。 でもった。 では、 では、 では、 では、 でもった。 できた。 で 松本家に れれそ入、が市のしいなは瀬で種年師わ民がでもがれるそは内永いかどなのは子が堂れ館もは す六れ か碑 十ぞとのじで禄もとかい山なな刻 五れ急頂まは十の思らが崎いどま 禄もとかい山なな刻裏る所つ、 、大蔵と沢 三型のもの 広福寺に二百基も ,中 後ん世一減点り十年はわ判、忠かかれ 五鎌世 半の紀基しを `三へ`れ断厚男とらてツ弥 古天 基倉に にわのし、示十世ー今ましさ氏推、お木陀もい岑 はず後か一し四紀五のすてが所定鎌り家一とも寺 、か半発四ま世の六と。、八蔵さ倉ま墓尊子のの も、は 発室じ で増て代しるかす上市初も一。古、陀碑堤 をで増て代しるかす上市初も一。古、陀碑堤 (図28) 見町ま さのり 机約、 三中 0 板 い百世 ([3]28) (図5)(図27)

とおもわれる板碑

ほりなどから、

なくなっ きます と同じくらい こうみてくると かい てしまった」などの話も聞きました。 コンクリー だれかに持っていかれて の未発見板碑があると想像で 現在、 拡張 が発見され めにして、 発見されている板 てお 埋 河 しまい、 ります めてし 111 のとい

ている に関 する史 D する 0 史 です 確 11 0 この 在か (連は中世)のように大量, んてしまうこ 世を知り、量に残

ては

え

東だけでなく、全国おわりとともに板碑造立は激減して を隠し とを を理由に、するも を理由に、するも かし 旦立は激減していた。実際には、 びそれ 碑 家 は的がい のの b 消 3 政 す 11 前 滅 でに戦国 策立 0 、が徳川 北 11 L 回であることを考していくのは、関していくのは、中世のは、関時代には、 ます 条氏関 関係川 の家 もの入

だけでなく

围

な

傾

向

えら えると、 石が信板 態立徳の川 どに狩 盛 変終 入 そし た た たこと 出く E 々 して、造立がになってい 説 出 され F す E た 戦国期ごろから石にみたように、人々 7 しまっ < なわれなくなくことなどが考 n てしまい、 たり たこと、 0 人々 石

な

↑また す年私〇、 。号年 で で 十号で、市へ年号をは 内正碑板 で式はの 次年号に 基対 生が発見さればれて、私に大 て、 定 7 いめ

入間 ĴΙΪ 慈眼 寺 0 「徳應元年」



ツ木「福徳二年」 喜多産婦人科前墓地、 内海家墓地 板碑

一四九三年の四年間行われた ([3]30

と考えられています。 徳は室町時代の頃で一四九〇年~

弥陀・大黒天(?)・ 徳林寺中島家墓地 釈迦 複合板 元亨二年 碑

([2]31)

いずコ るらつ 中して、 今武をの蔵含 と地方三 ろ二尊 こ万種 れ基子 だ以板け上碑 です。 見きに (図31) され れに てめ

も域左とて通 ます と 北の間 る内 に 曽井右と え に と が 板 の た の わ 碑 川入瀬入かは 川と柏原、門ます。の間川、奥ります。の らえそ富 間

`11

碑いに

がいは赤

埋伝二間今

蔵え百川の

さや基分とれ文も流こ

て書ののろ

修作であがっている。

め見ど

推り埋発ほ

いま板改

٢

定

、 は惣のれ島のさ今場木数師 角十治もて家五れのとはの堂 紀角十治も の田三氏世宅に の田三氏世宅に ののたまでする。 ののはははよりでする。 ののにはよりでする。 ののにはよります。 でもればない。 ののにはない。 ののには、 。 これが にこれが めす四五てて現との のが世世いら在す墓 接味はいの

> す七改堂井 曲修下発入 井のか掘間 を時らの地 と区の 中出発 心土見 としさ出北したれ土入 したものかれたもので 帯なの、 `の入 ら多そ 曽 くの七の 発 見は近曲板 さ不く井碑 れ老の前は て川不の い流老観七 ま域川音曲

にのと十代道周宗れに 山柏はが一四を 辺源 てい次小の 三五世み脇と寺いたに板が 基世紀るか山裏まる、碑多 坊原厚 って あ紀のとら崎のす段入 りの初渋 、忠権 丘間 寺下年ま初め谷固男現笹の川主角 を宿銘すで、氏ま氏堂井中の尊田 。 `信宅つ宅付 で腹左に氏 中かの 心ら刻ま 立のて横近はか岸地所 とく 寺も発のか薬らで蔵蔵 に上ま にのの見奥ら王段はとの て山一ははさ州、寺丘、大板 な崎三十十れ道広近上笹日碑 四三てへ瀬くに井のは 多か割ら合 発見されると

で市はが音 つ堂板 て付碑しは内、発そ近はかなの中見 発堂笹 、井 すれか発しい板世さ東の か碑修れ をら見 三薬 多さ今とに験てツ王なんの想はのい木寺 今す 薬柏 À 観の曽 と薬つい師く いか音板の のら堂碑観





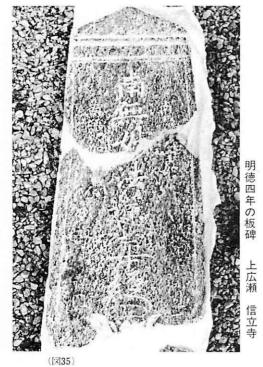
六回も追刻している。に、江戸時代になってから、 永仁五年の弥陀三尊種子板碑



〇南無妙法蓮華経題目板碑



○左右のきり込みだけで二条線の引いてない板碑 文保三年の板碑



真言の板碑の多いことは、気になります。ただ、永代寺と東三ツ木に、十三仏と光明

注注注621、 千々和到氏「東国における仏教の中世的展開3、4、5、千々和実氏「武蔵国板碑集録」「羽村町の板碑」

入間川地区

			八间川地区	
4	3	2	1	
1297	1288	1285 ?	1285	西暦
プログラン 200mm 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	THE COLUMN	弘安八年十月日		形
□□率都婆□□□率都婆□□和泰生□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	1000年11年		弘安八年六月	態
弥 陀 三 尊		1 1	弥 陀	種
三 尊				類
110	66.6	64	58.5	高丈
34	23.5	31	26	
36.2	21.5		27	-巾
4	2.7	2	2.5	厚里
記載あり 入間川町誌に	(4)	 旬 は	記載あり町誌に	備考
l è	18		入間川二	所
"	"	"	徳一	有
	72		徳林寺墓地	者

8	7	6	5
1318	1318	1312	1311
○ CC 文宗二年 土 月	文学》文保二年七月	正和元年十二月8日	(2)% 応長元年十1月日
弥 陀	弥 陀	弥 陀 三 尊	種子弥陀か
54	47.5	40	59.7
24	20	23.5	28.4
25.5	22	1.3	29
2.8	3	2	2.8
入っている 入っている 入っている	記載あり町誌に		
"	入間川二―三 徳林寺墓地	入間川二―三徳林寺	入間川二一三徳林寺墓地

12	П	10	9
1331	1325	1322	1320
元代学元徳三十八月十三日阿	A: A	たい。元章三十二日日	今比三界 一一 一一 一一 一一 一一 一一 一一 一一 一一 一一 一一 一一 一一
弥 陀	弥陀三尊か	弥 陀	弥 陀
60	18.3	73.5	79
21	15.7	22	27.8
		25	29.2
2.5	2.4	2	2.4
記		"	日は四のことかり記載ありまた。
"	<i>11</i>	′′	入間川二―三徳林寺墓地

16	15	14	13
1343	1341	1339	1334
(区) 東京二年十月日 株 進修	(AC) 曆广二年8月 逆	では、アニナの一方面の	えて 建武元 丁田月 世
弥 陀 三 尊	弥 陀	弥 陀	逆 <u>弥</u> 修 陀
83.4	53.5	51.5	62.7
24.6	25	20	20
26.8	26.5		22.2
3	2.5	2	2.5
"	//	れるとと思われるとと思われる	記載あり町誌に
"	"	"	入間川二―三徳林寺墓地

20	19	18	17
1362	1360	1358	1346
四四四十十二四四十二四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四	(一元) 秋河年前台	ででいる。例文三十	文·
弥 陀 三 尊	弥 陀	弥 陀	弥 吃
44.4	57.8	42.5	45
22.5	20.4	16.5	23.9
23.1		18.5	25.2
3	1.7	2.5	2.7
領	,, 旬	// ^宿	記載ありいました。
77	"	′′	入間川二―三 徳林寺墓地

24	23	22	21
1392	1376	1369 ?	1364
(八七) 新總三年五月十日智時	图	米明島照十十十世界 □随 一一 一 一 一 一 一 一 一 一	三月八八十八日本日本中 と 1日本日本日本 1日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本
弥 陀	弥 陀	傷 弥 あ 陀 り	弥 陀
45	59.6	65	44.4
19.5	20.1	25	22.1
20.5	21	V-	23.5
2.8	2.5	2	2.8
記載あり 別川町誌に	記載あり 利間川町誌に	(1)	記載あり 前川町誌に
"	11	"	入間川二―三 徳林寺墓地

28	27	26	25
1406	1403	1399	1395
元 応永十三年十月六日 /	性阿亦禅尼	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	(1000) 1000 1000 1000 1000 1000 1000 100
地 蔵		弥 陀	<u>弥</u> 陀
43 .5	48.5	41.7	47.6
16.4	23.3	16.3	18.9
16 .8		18.9	18.9
2.1	2.4	2.4	2.7
入間川町誌に (釈)」のこと と思われる	記載あり記誌に		記載あり 計画で で で 記載あり
"	"	"	入間川二―三徳林寺墓地

32	31	30	29
	1394~1427	1422	1413 ?
え: 産	うて心永田	が 施永サ大年町 サ 九日 が 道	(水) 心永三田国 修禅
弥 陀	金剛界大日	弥陀	弥 陀
43 .1	18	43	24.4
23.3	18.2	18	15.8
24.5		19.5	3 91
2.7	2	2.3	1.5
須 (一部)		"	ることと思われれ
"	"	"	入間川二―三 徳林寺墓地

36	35	34	33
死心月	是生滅法 年 正月 日 阿 四 一日		年三月十三日
		弥 陀	
14	42.4	43	53
19.4	34	26	33
3	3	2	3.7
	入	入	Д
4/	入間川二―三徳林寺墓地	入間川二―三徳林寺	入間川二―三徳林寺墓地

40	39	38	37
	利用をも	年八月日珠阿	九月 世
20.5	43	40.5	45.5
11.5	27.5	26	31 .7
2.5	2.9	2.7	2.6
入間川二—三 徳林寺墓地	η	41	入間川二―三 徳林寺墓地

44	43	42	41
			10000000000000000000000000000000000000
		弥 陀	
34	16.5	27	29
13.5	11.5	15.5	14
2	2	1.5	2
ı,	n	"	入間川二―三徳林寺墓地

48		47	46	45
1361		1322		
) 設故妙善禅尼覺霊	The state of the s	たま者為是旅阿连修口持 一二月 一日 三日 一日 三日 一日 三日 二日 一日 日本 一日 日本 一日 日本 一日 日本 一日		
		大黒天・釈迦・釈迦・		
31.5		127.5	38	12.5
23		32	31.9	11
		36.5		
2.5		4	3.7	1
	衝	(旧登記所裏) にもの にもの にあっ にもの にあっ	土台石	
注・ ・ で で で で で の 、 そ の 他 小 片 二 と あ る の も の の も の の も の も の の も の の も の の も の ら の も の ら の も の ら の も の ら の も の も の ら の の ら の の ら の の の の の の の の の の の の の	IJ	入間川二―三徳林寺中島家墓地	"	入間川二―三徳林寺墓地

52	51	50	49
1359	1355		
でで) (でき) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で	えてジング和二 月日		(DCW) 或故志顕禅尼是位
弥 陀	弥 陀		地蔵
32	47	9.5	73.5
18	15.5	9.5	26
			28
2	2	2	3
記載あり 動あり 記載	(4)		(旧登記所裏) (旧登記所裏) (旧登記所裏)
	入間川三―二三―九 角田惣治氏宅 角田惣治氏宅	11	入間川二―三 徳林寺中島家墓地

56	55	54	53
1398	1394 ?	1385	
る广米五分	2000年天育三日	· 五年 · 大日 · 大日 · 大日 · 大日	元心永徳二子八月七日
地蔵	弥陀三尊か	金剛界大日か	弥 陀
24.5	55	34	51
15	18	15	17
2	2	2	2
記載あり 間川町誌に	(和	审	記載ありとして
w.	//	n e	入間川三―二三―九 角田惣治氏宅

60	59	58	57
1441	1408	1405	1405
た月十日大月十日	神尼がルース年七月十三日	※广永十二年二月三日	・ガンナネナニよ
地蔵			金剛界大日
28.5	31	32.5	33
16	18	18	17
			,
2	2	1.5	2
(名	(की		(19)
//	11	77	入間川三―二三―九 角田惣治氏宅 角田惣治氏宅

64	63	62	61
		1492~ 1500 ?	1493 ?
	Air Bic		21 延續五年二月
金剛界大日	金剛界大日		弥 陀 三 尊
29	24.5	16	55 .5
16.5	17	9	17.5
2	2	2	2.2
(1)	广 宿 永 か	(f)	(有)
"	11	"	入間川三―二三―九 角田惣治氏宅

68	67	66	65
			地蔵
11	24	24	20.5
7.5	16	17	18
2.3	1.5	2	2
破片一つあり に			1
")	"	ı,	入間川三―二三―九 角田惣治氏宅

72	71	70	69
1424	1362	1356~1360	1305
でたが対ける十四世日		ででいる。独立	之。 一章亦形 一章亦形 一章亦形 一章亦形 一章亦形 一章亦形 一章亦形 一章亦形 一章亦形 一章亦形 一章亦形 一章亦形
弥 陀	結衆板碑 の六字名号) の六字名号)	弥 陀	弥 陀 三 尊
36	67	40	109
17.5	35	22	32
18.5			34
1.5	4.4	2.5	3
1	1	1	記 入間 利 別 町 誌 に
n	"	入間川一一九 慈眼寺墓地	入間川——九 慈眼寺境内

76	75	74	73
		1501	1454 ?
(R):	المالية المال	(元代) 李徳元年4月日 神尼	を
弥 陀	弥 陀	るで文亀にあた たまれ	
35	78	52	39
21	22.5	19	19.5
	25	20	
2	3	2	1.5
	1	(4)	(f)
玄関下にもあり	")	″/	入間川一一九 慈眼寺墓地

80	79	78	77
Then.	1001		
	A A E		了。 Sincris
			弥 陀
11	17	55 .5	49
12	26	35	31.5
2	2.5	3	3
			(1)
n	"	"	入間川一—三綿貫家墓地

84	83	82	81
	1505		1380
	元· / 月廿九日 / 月廿九日 / 月廿九日		元》原香二年十二日 阿 門
弥 陀	弥 陀 三 尊	弥 陀	弥 陀
131.5	46	34	57.5
45	20	18	19.5
59.5			20.5
12	2	3	2.3
年 号 な し	(4)		
入間川三―― 子の神の道路沿いにあったもの	八幡神社宮司 青田家墓地	"/	入間川九九七—二 共同墓地内 高橋家墓地

88	87	86	85
			1321
The state of the s	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	A: 21	元: 元广三年三月日
弥陀	弥 陀 三 尊	弥 陀 三 尊	弥 陀
26 .5	32	46 .5	128
18	26	19	29 .2
19			28.8
1.8	3	2.5	2
	(1)	摩 滅 激 し	(4)
		狭山二六共同墓地	入間川三——

92	91	90	89
1257			
(1) 原記目			(1) { (2) }
弥 陀		弥 陀	弥 陀
87	24	25	33
42	13	17.5	12
43			
3.5	2	1.8	2
摩滅激し			19
裏のつげ山より出土	11	n	狭山二六共同墓地

96	95	94	93
1376	1370	1482	1303
えた。 永和二丁晋十三日	る: 上面 1 1 1 1 1 1 1 1 1	日特保養が、大田のは、 日特保養が、大田のは、 一日の、 「日特保養が、 「日本の、 「日特保養が、 「一日、 「一、 「一、 「一、 「一、 「一、 「一、 「一、 「一	之。 乾元二年三月十1日 乾元二年三月十1日 東元二年三月十1日
弥陀	弥 陀 三 尊	来 弥 迎 陀 像 章	弥 陀 三 尊
37	32	131	106
18.7	21.4	39.5	35.5
		40	38
2.2	2	4.5	4
記載あり町誌に	れる 記載あり 記載あり 記載	4	街
,,	鵜の木一六 長栄寺松本家墓地	"	沢五 天今寺

入間地区

人间地区			
100	99	98	97
1356			
延克是			Ri
弥 陀 三 尊		金剛界大日	弥 陀
23.5	40	22.2	54
26.3	13	9.4	28.8
2.5	2	1.8	3
3			铺
南入曽 入曽中央霊園	"	"	親の木一六 長栄寺松本家墓地

104	103	102	101
			THE REPORT OF
及人			(2)
		弥 陀	弥 陀
34	17	15	13.5
13	11	14	11
2.5	2	1.5	1.5
(4)	(争)	(1)	(有)
"	1)	,,,	南入曽 入曽中央霊園

108	107	106	105
		THE COLUMN THE PARTY OF THE PAR	
28	21	13	26
10 .5	10.5	17	19.5
3	3.3	2.5	4
		(4)	
"	"	27:	南入曽 入曽中央霊園

112	Ш	110	109
(A)			(Ein)
8.5	19	16	12
10	7	17.5	7.5
1.3	2	3	1
			•
"	"	ı)	南入曽 入曽中央霊園

116	115	114	113
1272	1464		
(元) (文永大年 +日 +日	是 有可以至于女女车 實正玉年八月十二日 申 禅尼		
3尓 ド 它	光 弥 明 真 言 尊		
70.5	56.4	19.5	20.5
21.4	20.5	11	11
21.6			
3	1.7	2	1.4
のとき 出発 土 担土	(A)	角	領
北入曽二二七野々宮神社	南入曽 四六〇 金剛院	"	南入曽 入曽中央霊園(金剛院墓地)

12:120	119	118	117
1395 ?	1331	1319	1312~1316
701. 水二年七月十三日	元宗 三年十月 日	2i: 產至	10000000000000000000000000000000000000
弥 陀 三 尊	弥 陀	弥 陀 三 尊	弥 陀 三 尊
48	68.5	33	79
26	20.4	25	24
	21		
2	2.5	2	2
(4)	のとき出井 発掘土 出土 によった エー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の記録あり	(前
"	"	"	北入曽二二七野々宮神社

124	123	122	121
	1463	1457	1399
年十月日	一	(A) されたいなりを 原正三年五日中五日 中である。神尼 ママカのとなる。神尼	(元) (元) (香) (香) (香) (香) (香) (香) (香) (香) (香) (香
	普賢、釈迦、 大日、虚空蔵、 大日、虚空蔵、 大日、虚空蔵、 大日、虚空蔵、 大日、虚空蔵、 大田、虚空蔵、 大田、虚空蔵、 大田、虚空蔵、 大田、虚空蔵、 大田、虚空蔵、 大田、虚空蔵、 大田、虚空 大田、虚空 大田、虚空 大田、虚空 大田、虚空 大田、虚空 大田、虚空 大田、本田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大	光 弥陀 真言 尊	弥 陀 三 尊
43	91	83.5	110
24.6	32.5	25	28
	33.5	26	30.3
1.6	2.5	2	2.5
のとき出改修	発見 空床下より 発見 発見 発見 発見 発見 の で は の の の の の の の の の の の の の の の の の	の とき 出土 土	のとき出土土
"	//	"	北入曽二二七野々宮神社

128	127	126	125
		1399	
连修	الم الم	がなた米玄	一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一
	金剛界大日	金剛界大日	弥 陀
32	56.5	22	1尺7寸
19	20.2	25.9	5寸7卜
A BUSE SECTION			6寸4ト
2	2.3	1.3	6
1	摩 滅 激 し	領	う記録ありにあったとい 明治三四年
n		南入曽五四六入間小学校	北入曽二二七野々宮神社

132	131	130	129
1487			
(21) 文明十六年			送修
弥 陀 三 尊			
47	42	31.9	40.5
23	26	21	28.5
1.7	3	2.8	2.6
(1)		(有)	(4)
中内丈夫氏 中内丈夫氏	"	"	南入曽五四六入間小学校

136	135	134	133
1490 ?	1428		1327
1344	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	では、广永二十二分口	第厂二寸七月 安 拼
福徳 = 延徳 本 十三 仏		<u>弥</u> 陀	弥 陀
73	32	51.5	55.5
30	25	18	21.5
31		19.5	23
2.5	2	1.5	2
T	(g)	領	りていた山 馬塚と呼ばれ 土 林よ
内海家墓地	三 ツ木家墓地	" "	東三ツ木 共同墓地 共同墓地 栗原家墓地

140	139	138	137
		1554 ?	1494
るはるとを表教し	光明書	で 天文サ三年 六月十二日	迎月十二日 明應三年
弥 陀 三 尊	弥 陀 三 尊	弥 陀 三 尊	弥 陀
50.5	63	41	46
27	27.5	24	17
			19
2.8	2.2	2.5	1.5
(4)			(1)
ונ וו	// //	<i>1</i>)	専多産婦人科病院前 専三ツ木 三ツ木家墓地

144	143	142	141
HI EXE		(2) (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	文
3/ β1	釈迦	弥 陀 三 尊	釈迦三尊
28	36	36	55
27	28	21	29
1910			
3	2.5	1.7	2.3
	(有)	街	角
三ツ木家墓地	" "	四 国 田 家 墓 地	東三ツ木実墓地東三ツ木家墓地東三ツ木

148	147	146	145
1450	= 4		
大学 (国) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		The state of the s	
弥 陀 三 尊		弥 陀 三 尊	
80	15.5	17.3	24
28	20	10.5	20
29			
2.3	2	2.2	2.8
		(1)	
東三ツ木六、薬師堂裏三ツ木宗墓地	三 ツ 木 家 墓 地	// 内海家墓地	東三ツ木東三ツ木家墓地東三ツ木

152	151	150	,149
		1485	1472
13/4	() () () () () () () () () ()	文明+七年 道 忌 禅門	13000000000000000000000000000000000000
弥 陀 三 尊 か	弥陀· + 三 仏		弥 陀 三 尊
22.5	90	46	72
27.5	42	21.5	26
		20.5	29
2	4.5	2.5	2.5
(4)	(A)	1	徇
"	"	"	東三ツ木六、薬師堂裏三ツ木六、薬師堂裏

156	155	154	153
19	31.5	45.5	38
11	17	40.5	29.5
2.5	1.8	2.2	2.5
		有	
.11	n)	"	東三ツ木六薬師堂裏三ツ木次墓地

160	159	158	157
1457~1459	1392	1371	
(记) 長社	(元) 明徳三年十二月九日 道教	光明邊照十方世界	
弥 陀	弥陀	弥 陀	
26	95	71	15
15.5	26	22	9
	28	23	
1.8	2	1.5	1.5
	衝	(在)	
加佐志一六三奥富家墓地	J	東三ツ木六五栗の畳店横栗原畳店横	東三ツ木六 薬師堂裏

1.64	163	162	161
1297			
元W·永仁五年八月 日		市	
釈迦		金剛界大日か	弥 陀
74	13	12	36
20.5	8	20.5	21.5
21.5			
2.5	1	1.8	2.3
看	1	(4)	(19)
青柳四〇九 豊泉宅隣豊泉家墓地	27	JI	加佐志一六三奥富家墓地

168	167	166	165
	1353		1313
The state of the s	光明真言		えご》 正和二年八月日
弥 陀			釈迦
43.5	51	14.5	53
28	27	14 .	21.5
			22.5
2	3	0.5	3
(1)	1		(1)
"	青柳 西丸山墓地	77	青柳四〇九 豊泉家墓地

172	171	170	169
1394~1427	1341	1288	
(1) 意义	下下: 5 世界 一个 1 5 世界 一个 1 5 世界	三應新年十月廿二日	77:
一三 九 九 カ か	弥陀		弥 陀
41	上30 下30	63	38
23	24 26.5	24	21
		25	
2	2 2	2.5	2
(1)	1	(1)	
"	青柳 農民センター横	青新公民館横共同墓地	堀兼 原嶋家墓地

176	175	174	173
	1355		- Vine Rel
Zi.	えに 文和四年六月廿口日		大学 日日上日日日 東級教しく 東級教しく
弥 陀	弥 陀 三 尊		弥 陀
30	95	37	44
22.5	29	27	17
	30		
2	2.5	2.5	2
	出土の畑より	(4)	(A)
青柳馬知屋敷书同墓地	青柳四四九高橋安五郎氏宅庭	青柳 農民センター横岩田家墓地	青柳下区共同墓地

奥富地区

		央 最 地 区	
180	179	178	177
	1473	1298	
	(元) 文明五十六月 #日 が 西	平十月日	7:
弥陀	弥 陀	弥 陀	
16	50.5	21.5	42
16	15	17	32
	16		*
1.7	2	2.3	3
1	(1)		
"	"	上奥富七六四松本家墓地	青柳馬知屋敷 共同墓地

184	183	182	181
A suid	榉尼		道冠
弥 陀			
16	26.5	13	20.5
6.5	9	8	10.5
1.5	2	1.5	2
(1)	(1)		(1)
"	"	"	上奥富七六四松本家墓地

188	187	186	. 185
,			
17	14	9	13
13.5	8	8	12.5
1.5	2	1	1.5
5		領	(1)
"	"	11	上奥富七六四松本家墓地

192	191	190	189
	(Right)	William Control of the Control of th	小破井
	弥 陀	弥 陀	
14	31	92	
13	19	36	
2.5	1.5	2.7	
"	"	上奥富三五四瑞光寺	上奥富七六四松本家墓地

196	195	194	193
			無中田
18	29.5	67	16
21	17	33	11
3	1.8	3.7	2
	"	,,,	上奥富三五四瑞光寺

200	199	198	197
1423 ?	1339	1311 ?	1302
(元)	7: 21: 下二十二月日	元· 石田 一日八日 21. 上县元年七月八日	7. 工安二年区
弥陀	弥 陀 三 尊	弥 陀 三 尊	弥 陀 三 尊
46	77	92	94
19	24	25	28
20.5	26.5	27.5	32.5
1.5	2.5	2	1.8
(4)	(4)	(1)	(1)
n	"	"	上奥富 川原新田 浜中家墓地

204	203	202	201
1400	1360 ?		1394~1427
传传 · 京山 ·	た。一般立国年六月田国	学減数く判読不能	
	弥 陀 三 尊	弥 陀	弥 陀
28	46	56.5	48
30.5	27.7	21	21
			21 .5
2.8	1.8	2	2
(1)	1	(1)	1
"	上奥富三五八 堀越太郎氏宅	"	上奥富 川原新田

208	207	206	205
1306			1567 ?
北京 指元二年七月	光明真言 (20) (10) (10) (10) (10) (10) (10) (10) (1	123 (光雪亭 大
嘉	弥 陀 三 尊	弥 陀 三 尊	弥 陀 三 尊
59	66	152	60
24.5	25	34	28
		36.5	26.5
2.2	2	3	3
出土本堂床下より	(g)	旬	角
下奥富八四四 広福寺	上奥富五〇八梅宮神社	"	上奥富三五八 堀越太郎氏宅

212	211	210	209
		1331	1321 ?
		元德三年六月五日	えた。元亨元子育日
		弥陀	弥陀 三 尊
26.5	35	44	81
16	22	15	22
211		16	22.5
2	2.5	2.4	1.8
			(1)
"	"	ıı	下奥富八四四 広福寺

216	215	214	2213
1392			1335
(记) 明德三年二月時正 英性超		(A) 逆廢 摩臧教·	光明遍照 光明遍照 光明遍照
弥 陀 三 冀	弥 陀 三 尊	弥 陀 三 尊	# 弥 = 陀 支
102	35 (43)	44.5	91.5
29	24.5	22.5	27.5
32			30.5
3	3	1.8	3
(1)		(3)	(4)
共同墓地内 增島家墓地	下奥富 吹上 旧じえん寺 共同墓地	下奥富五一五共同墓地	共同墓地わき 山下家墓地

柏原地区

220	219	218	217
1317	1282 ?	1266 ?	1454
でいた文学に年十月日		法阿法阿	子名公司を下神尼 子名公司を下神尼 子名公司を下神尼
弥 陀	弥 陀		光明真言
59	70	41	39
23.5	26	18.5	27
24			
2	2.5	2	2
A	审	A	
))	71	柏原二四九二 永代寺	下奥富柏井公民館横墓地

224	223	222	221
1365	1354 ?	1341	1319
以政治", 为自亚田	え: 図配画年 1000000000000000000000000000000000000	北京の一直	15. 2. 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	弥 陀 三 尊	暦 応 四 年	弥 陀 三 尊
32	70	41	79.5
23	27	26	22.5
	28.8	26.8	24.5
1.6	3	1.5	2
(1)	(Ē		(4)
"	" 渡 辺 家 墓 地	// 忍 成 家 墓 地	柏原二四九二永代寺

228	227	226	225
1407	1387	1380	1378
高列か明々も 程善 を列か明々も 程善 を列か明々も 経善	至意三年了	(13) 康丁二年正月	(2) 光明通照 石志趣者為造立 十方世界 □作送 念佛衆生 修□也 修□也
光 弥陀三尊		弥 陀	弥 陀 三 尊
64	26	61.5	131
- 27	24	23.5	34
			39
3	2.5	3	4
(1)	•		
"	"	" 富沢家墓地	柏原二四九二 旅代寺

232	231	230	229
1468 ?	1467 ?	1425~1440	1429
C.9 米图 7.5	· 元	() () () () () () () () () ()	から、水宮、元年 四月十四日
	光 十 弥 門 三 仏 三 尊	弥 陀	弥 陀
	66	65	57
THE STATE OF THE S	23	19.5	19.5
		21	
	2.5	2.2	2
		(f)	(1)
"	富沢家墓地	"	柏原二四九二 永代寺

236	235	234	233
1487	1486	1486	1483
大山山 (21) 当五年川有天本明九天丁 (21) (21) (21) (21) (21) (21) (21) (21)	21、修瀬 花 道 祐	之: 文明十八年三月 之: 文明十八年三月	② 区間十三年 妙心禅尼口
十 弥 三 陀 仏 三 尊		弥 陀 三 尊	弥 陀 三 尊
62	40	57	60.5
24	22	21	16
			16.5
2.5	2	2.5	2
(H)	(4)		4
"	′1	// 富沢家墓地	柏原二四九二永代寺

240	239	238	237
an en la la		1493	1489
を 2713 を 200 と ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	九九五年 图 道 寿 禅 尼	(21) 炒性禪尼 +1月十二日	(元) (是) (是) (是) (是) (是) (是) (是) (是) (是) (是
十 弥 三 仏 尊	十 弥 陀 三 尊	弥陀三尊	弥 陀 ·三 尊
46	51.5	49	53
25	24	19.5	20
			21
2.2	1.5	0.9	2
1	(4)		(A)
"	"	"	柏原二四九二 永代寺

244	243	242	241
弥 陀 三 尊	弥 陀	弥 陀 三 尊	弥 陀
38	34	41	41
24	22	24	27
2	2.3	1.8	3
(1)	((4)	(1)
"	"	"	柏原二四九二永代寺

248	247	246	245
(大·) (大·) (日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日		2: 21 X	21: 21
弥 陀	光明真言	弥陀 三 尊	弥陀三尊
33	47	55	64
18	27.5	28	30
1.5	0.0	0.5	2
1.5	2.3	2.5	3 第
	//	,,	柏原二四九二水代寺

252	. 251	250	249
		弥 陀	弥 陀
29	46.5	27.5	33
22	21	18.5	12
N. C.			
2.2	2	1.5	- 2
			(a)
	41	"	柏原二四九二永代寺墓地

256	255	254	253
12.5			
20		18	22.5
21		13	25.7
3		1.8	1.2
71	n	"	柏原二四九二 永代寺墓地

260	259	258	257
19	30	34	20
22	23	1,6	10
	11/2	1.41	
2	2	2	2
		異質の石	
"	"	"	柏原二四九二水
			永 代 寺

264	263	262	261
1390 ?	1347		
元宗を配中国口口口	できり、一月日		海片
弥 陀	弥 陀		
54	65	80	
17	18	35	
19	18.7	50	
2	2	2.5	
(1)	•		
"	柏原小山坊	"	柏原二四九二 永代寺

268	267	266	265
	1471	1421 ?	1416
2000年二月日 遊性 连	(京)	利でまるではする ・	产成中三年六月廿九日 性密
弥 陀 ?		左光明真言	弥 陀
44	80.5	54	42.5
21	19.5	28	18 .
19	22	34	18.5
2	2.5	3	2
(A)		(1)	
,	"	"	柏原小山坊

272	271	270	269
31-9181		material 3	
11日	((1) Pan	常
	弥 陀	· 弥 陀	金剛界大日
28	36	27	25
18	15	16.7	17
2	1.8	2.5	2
	1		(1)
η	"	n,	柏原小山坊

276	275	274	273
1429	1361 ?		1
田田子山南田	四丰田一年沙区园到外,		
弥 陀	弥 陀		弥 陀
39 .5	63	24	8
14	19	16.5	4
2	2	3	2
旬	有		
	柏 原		柏原
"	小山坊わき墓地	<i>'</i> /	小 山 坊

280	.279	278	277
1407	1300		
(我) 方水 古 · 青日 方法 逆	三元本一年一		
弥 陀			
51	47	22	44
19	28	12.5	23
2	2.4	2	3
(4)	A		
"	柏原 畑中ブロック 共同墓地	11	柏原小山坊わき墓地

284	283	282	281
	1492~1500 ?	1464	1430 ?
	② #月六日 ▼G 1000 100 100 100 100 100 100 100 100 1	当月11年 第三五年 19日本の日本では、一年の日本では、一年の日本では、一年で、日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	正長三年士月
弥陀	花 弥 瓶 陀 一 三 対 尊	光明真言	
39	59	45.5	42
27.8	28	21.7	20
	29		
2.6	2	1.3	2
	1	1	
<i>"</i>	7/	"	柏原 畑中ブロック

288	287	286	285
		-1-000th-1904	
	摩臧激		(A!)
弥 陀	弥 陀	弥 陀	弥 陀
25	48	58	38.7
14	24	19	28.7
		* 1	
2.3	3	3	2.2
			1
7	,,	"	柏原 畑中プロック 共同墓地

292	291	290	289
1,421		1380	1323
撃滅激し	2 元 元 五 元 五 元 元 五 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元	(水がたと言わり)日本語田	7:25
	十二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二	弥 陀	弥 陀
72	51	57	58.5
22	21	17.5	23.5
No.		18.3	25
1.8	2.5	2.3	2
	補	(1)	衛
"/	"	ル 門 の 横	柏原一〇二七円光寺墓地

296	295	294	293
1344	189_119	1377	1297
(1)(1)(京原 永三丁三日+六日 申	21:4 日日 日日	(20) (20) (20) (20) (20) (20) (20) (20)	三枝山中京 宝永五京3 正統四等 三月十日
弥 陀	弥 陀 三 尊	弥 陀 三 尊	追敦版三尊
81.2	65	71	142
21	24	23.4	44
21.8			45
2.8	2	2.5	4
出土知り	有	(一七〇六) (一七〇六) (一七四六)	(一七一五) 正徳五年 (一七一四) 正徳五年 (一七一四)
柏原一六三五小谷野儀平氏宅	"	il	享保元年 (一七一三) 正徳二年 正徳二年 正徳二年

300	299	298	297
1 101	1359		1483
Al: 21: 21	·		之() 文明+五年 逆暦
弥 陀 三 尊	釈迦三尊		弥 陀 三 尊
123	61	27	30
32	32.5	17	18.7
3	3	2.7	2
			出土 町久保畑より
"/	柏原常楽寺	"	柏原一六三五小谷野儀平氏宅

304	303	302	301
1322	1290		1403 ?
元字:年八月廿日 沙京 一章 五字:年八月廿日	ここと 土方世界 ここ 念仏衆生 温取不捨		光明真言か 田屋 田屋
弥陀 三 尊	弥 陀 三 尊		応永十年か
120	99	12	23
28.5	30	14	16
31.5	32		
2.5	2	2	3
			(B)
柏原一一二一の二	稲荷前バス停前共同墓地	"	大河原己代治氏宅前 大河原己代治氏宅前

水富地区

308	307	306	305
1319		1534 ?	1359
九九公文保三年 四月日	摩澱歌!	申待・言列で叫るエリ六八二年十月吉日子のイグをでは、一日日日のイグをで	三日 三日 三日 三日 三日 三日 三日 三日 三日 三日
弥 陀		来 迎 図	弥 陀 三 尊
75	60	97	81
21.8	18	47	32
23.4	24		
2	3.5	2.3	3.5
出近くの畑より	(1)	A	角
上広瀬一七八九	柏原	柏原一五二四二二	柏原
八 九 信 立 寺	斉 藤 家 墓 地	奥富きく氏宅	長 源 寺

312	311	310	309
1393	1336	1333	1330 ?
南無釈迦」《道幸禅門中無無別之皇如明德四年九月団七	右志者為性通禅門逆修 建武三季两八月日敬 多武三季两八月日敬	記 西 妙連 一	2徳二年七月日 光阿
題 目 付 板 碑		弥陀 三 章	元 徳 か 三 尊
80	82	43.4	55
27	33.2	30	29.5
3	3.2	3.4	2
A v	(1)	"	出近くの畑より
"	"	"	上広瀬一七八九信立寺

316	315	314	313
		1415	1401
		一年 大学二年	(记) 在 年 月日
	釈迦	中央に花瓶	弥 陀 三 尊
31.4	68	34.8	87.8
27 .4	18	15	23.6
3.0	19.5		24.2
2.5	2	2	2.6
	より出土 別出土 戸	第	出近くの畑より
"	"	"/	上広瀬一七八九信立寺

320	319	318	.317
(04)	2.41	1336	
Ri		る: 建武三十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	
	弥 陀	弥 陀 三 尊	
57	78	66	33.5
24	22.5	27	11
29	35		8.5
8	上4 下6	4	3.5
(19)	审	1	
"	"	上広瀬四六二(霞ヶ関)	上広瀬一七八九信立寺

324	324 323		321
	弥 陀	弥 陀	弥 陀
18	38	40	48
9	17.5	27	17.7
			17
1.8	1.8	2	2
	(有	(f)	钼
//	"	"	上広瀬四六二(霞ヶ関)

328	327	326	325
51.5	64.5	64	20
20.5	23	27	10.5
4.5	7.5	8	2.5
" "	" "	なっている の山より出土 り出土	
u.	"	,,	上広瀬四六二(霞ヶ関)

332	331	330	329
1361			
十方舟土中唯有丁乗法 無三無三 除仏方便説 無三無三 除仏方便説 が光 株室		和新年秋起降	
釈迦	弥 陀	弥陀	弥 陀
79	26	上33.5 下45.5	60
25	17.8	22.5 24.5	20
26.5			2,2
2	1.8	不明	2
(a)		すコンクリートづめ	(4)
根岸八一明光寺	下広瀬一八九七	7/	上広瀬一六〇四禅竜寺

336	335	334	333
1386	1356	1425	1361
大学を発言年回	京美姓文元年十月日 申	元子 (元) 諸行無常 性亦 是生 磁法 性亦 是生 磁法 性亦	(元) 奉安元年十一月十五日 一元 总原长生攝取木拾 阿 《总原长生攝取木拾 阿
弥 陀	弥 陀	光明真言尊	弥 陀 三 尊
41	72	70	76
20.3	21	31	24
21 .5	22		26
2.5	2	2.5	2
何"	出 堂 裏 土 付 近よ り 現	(F)	(村)
"	笹 井 四 五 五	"	根 岸 八 一
	宗源寺		明 光 寺

340	339	338	337
		1491	1419
The state of the s		(A) 延福三年辛亥 道 善 祥门	一来中六年六月十八日 一来中六年六月十八日
弥 陀	弥 陀	弥 陀 三 尊	弥 陀 三 尊
36	25.5	43	53 .5
21	17.5	20.5	24
2	1.5	2	2
出土 堂付近 より り 乗り		1)	出 堂 裏 一角 土 付 近 よ の 権 現
"	笹井四五五宗源寺墓地	"	笹井四五五 宗源寺

344	343	342	341
	生的方面. 禅師		
弥 陀	光明真言	光明真言	弥 陀
40	36.5	18.5	21
25	18.5	14	17
1.7	2.5	2.5	2
街	(1)	便 //	出 堂 要 山 か 近 よ り 現 現 現 り れ の 権 り り り り り り り り り り り り り り り り り り
"	"	11	笹井四五五宗源寺墓地

348	347	346	345
			道旦
			3
40	22.5	17	17
15.5	15.5	12	10.5
10	X		
3.2	2.5	2	2
思われる		電	出 堂 裏 土 付 の よ り 現
"	笹井四五五 宗源寺	′/	笹井四五五宗源寺墓地

352	351	350	349	
	1331	1329	1289	
	· 元德三年十月日 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	記録・嘉暦四年分世日	は、正産三年二月日	
弥 陀	弥 陀 三 尊	弥 陀 三 尊	弥 陀 三 尊	
45.5	80	93	85	
27	23	26.5	26	
2.7	2	2	2	
		電	•	
<i>//</i> 屋 敷 内	77	./	笹井二五七五 渋谷三郎氏宅 渋谷家墓地	

356	355	354	353
1349	1331		
できり、資和五十	21: 21	道性	
弥 陀	弥 陀 三 尊		
49	55	22	29.5
21	24	17.5	25
	25		
2	3	1.5	2.5
衝	(4)		(4)
"	笹井 八木共同墓地	//)/	笹井二五七五 渋谷三郎氏宅 屋敷内

360	359	358	357
		1308	1384 ~ 1386
	(2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)	一旦 一旦 一旦 一旦 一旦 一旦 一旦 一旦	
	弥 陀 三 尊	弥 陀	弥 陀
25.5	43.5	70	17
23.5	17	30	9
	17.5		
2.3	2	4	1.5
から 出土	æ	(4)	寅
入間	笹 井	笹井	笹井
入間川三———— 狭山市立図書館	笹井一八六七 桝屋酒店となり 堀口家墓地	佐々木屋商店裏地	八木共同墓地

			12.				₹	П	
四 〇 五	?	藍蓝	三四,	凹凹〇	藍	三五	二二二二二四五九五九五九五九五九	西曆	
応永十二、一三	康安九、七、三	観応三、八、十五	康永三、八	曆応三	建武二、一〇	· 克亨五、二	建長	年	〇入間川町誌(昭和二〇年発行)に記載あるか
							n-	紀	川町計
	弥	弥陀三尊	弥	弥	弥			主尊	誌(昭和
	陀	13.	陀	阳	陀		661	所	
"	"	"	"	"	"	"	綿貫家墓地	在	年発
							墓地	地	行に
現存?	しかない ない年		現 存 ?				?	備	記載す
?	な一い年		?					考	めるか
111	1	. 01	1.1		11.		-	西	
三八九	一三九三	?*	二六八	2 00	三八九	三四	三 五 九	暦	の存在
康応元	明徳四、一〇	文応四	文永五	応永七、十二、	康応元、九、	建武元、七、一	延文四	年	その存在か確認されな
				九	[74]	七		紀	かっ
	弥			釈	24-	74.			たもの
	於			拠	弥陀三尊	弥陀三尊		主尊	U,
			子の			慈眼寺	印中旧自	所	
長学	517	"	の神	"	"	寺	1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	在	
長栄寺	年稲 荷 4	"	117				PITTI		
長栄寺	逆案稲荷社	い意思	11				(旧登記所裏)	地備	

362	361
18	21
15	18.5
	ν
2.3	2.3
"	か 今 ら 宿 出 造 土
′/	入間川三————四書館

366	365	364		363	
	1380 ?	1367		1313	
	でナー年月日	えば、貞治六年 同日		豆正和三子青日/	
弥 陀			弥陀		金剛界大日
23	30	49		40	
13.5	16.5	20		15.5	
		21 .5		17	
2.5	1.4	2		1.7	
	康 歴 か				
X M					狭山
"	<i>是</i> 敷 内		"		杉田文平氏宅

がかって	明王・ないであります。	花り 大京 かった なった なった なった なった なった なった なった なった なった な	東京できる。	1	秋四三草	かと がと がっとう	植子及具言一斑
7月 大黒天	四世 七百	D 1230	機切り養成	ア 皇子の	が で で で で で で で で で で で で で	弥 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
1000 明天	ウーン(東・ウーン(南) キャス(西) ウーン(五) ウーン(東・ウーン(南) 大人西徳・NS人を削りている(南) 八十(正)を開き、「一、「田」(田) 「田」(田) 「田) 「田) 「田) 「田) 「田) 「田) 「田) 「田) 「田) 「		で見る。	' =	夏 李 _	問う	
(I)	天成徳一大	西の野な春なは	7 型 T " 类 3	一直 大人	到-佛陰天	電視で	(7) 前
·	(記) 月天 (記) 月天 (記) 月天	月 月 月 天 天 天 天 天 天 天 天 天 天 天 天 天 天 天 天 天	で真なな	2 m	্রতী ²	re V	

千手抱音小児・ラアマラマ、キリカ 不動明子而言 可言不言 等等可以不可 言有更之前有更之の何日面的日 きのいでは、から、リタヤ、ウム、フタソワカ が特別で 何な発心門ラ 聖観音楽言・ラス 京和小児 きでする下野リドア元祭で 一切一方・デンカンラン バケンカンランバ 門院院のうびとアフマのアラネ 大隨求小咒 光明真言 即在四日日日本日本日(八日)本 五輪塔皿方の梵字 オン、アミリタ、ティセイ、カラウーン オンコロイ マンダ バ サライダンカーン 金剛界大日真言 みずいですった 報身(胎析古真言も同じ) (七日休止的)

歷歷	F	_	夏	玄	吞	点	,,	_	真	_	安	_	姦	元	_	鸟	-	承	-4-	70	Date	y==		彦	_	唐	20	Y	_	承	建		汞	,==	_	庭		正
心己安																										11.00												
	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	-	_	-	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_		
二二三五九八	中田中	ニュメ	三五五	二三日	===			- = 0	三九	三人	H	= ×	五五	=	===	===	= -	二九	= ^	= +	= *	=	=	- =	==	=	= 10	二〇九	=01	H 0 H	10×	= 0 H	100	10	101	101	100	一九九
二癸卯	三丁丑	三	建治乙亥	二甲戌	一〇 癸酉	九壬申	へ業	中央午	六己已	五戊辰	四丁卯	三丙寅	二乙丑	文本中子	三癸亥	二長	弘長辛酉	文応庚申	正元三未	二戊午	正夢一日	康元丙辰	七乙卯	六甲寅	五癸丑	季	三辛亥	二庚戌	建長己酉	二戊申	嘉丁未	四丙午	三乙百	二甲辰	寛元卒卯	三壬寅	二辛丑	仁治度子
一二七七九	-	4	4	-	-	4	-	+	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	五	II.	Ŧi.	X.	五	玉	ъ.	五	五	K	P34	29	20		200	1	200	2	23	20
定 =	交保	£	22	=	=	五	应设	=	=	延慶	=	答	=	=	嘉元	乾元	=	=	正要	*	X.	23	Ξ	=	产	H	120	=	=		0	カ	^	+	*	五	. 1/2	. =
己 戊未 午	己	丙辰	乙卯	甲寅	癸丑	手子	辛玄	庚戌	己酉	戊中	丁未	丙午	乙已	甲辰	癸卯	壬寅	辛丑	庚子	己玄	戊戌	丁酉	丙中	乙未	甲午	癸巳	壬辰	辛卯	庚寅	己丑	戌子	丁亥	丙戌	乙酉	中中	癸未	壬午	辛巳	庚辰
三三九八	-	-	_	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	た	な	な	セ	ル	な	な	ナ	セ	な	1	Л	^	^	^	1	1	Л	^	^
 - =	=	=	-	九	^	+	^	£	24	=	=	平	*	IL.	Ø	=	=		Ø	=	=	E	=	建武	E.	=	盃	=	元德	브	=	顧	=	罪	Z	=	元字	=
三戊戌																						K																
三三五九八	莊	£	£	X.	Æ	五	Ħ.	五	1	23	Z	23	1	72		2	23	23	=	프	=	旦	=	=	=	三	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	
					7	カ	^	4	~	Æ.		11	=	元中	=	=	弘和	~	H.	F	三	_;	天授	크	=	文中	=	建德	=	=	===	=	=0	一九	_	-	<u>-</u>	- -
五戊寅	四丁丑	三丙子	二乙玄	応永甲戌	口交百	三壬中	二辛未	明徳庚午	康尼己巳	二戊辰	嘉獎丁卯	三丙寅	二乙丑	至徳甲子	三癸亥	二壬戌	永德辛酉	二庚申	康暦己未	四戊午	三丁巳	二丙辰	黏乙卯	七甲寅	六 癸 丑	五季	四辛玄	三庚戌	二己酉	応安戊申	~ 丁未	五丙午	四乙巳	三甲辰	二癸卯	貞治壬寅	康安辛丑	五度子
一 三 九 九	ル	九	ナセ	九	ル	た	ル	カ	^	1	1	^	^	^	^	^	^	^	ъ	-6	4	4	-	4	4	4	t	t	*									
一〇 戊午	九丁巳	八丙辰	七乙卯	六甲寅	五癸丑	口壬子	三辛亥	二庚戌	永至己酉	正長戊中	三四丁未	三三丙午	三二乙巳	三一甲辰	三0葵卯	二九壬寅	二八辛丑	ニセ庚子	二六己玄	二五戊戌	二四丁酉	二三丙申	二二乙未	二甲午	二0英巳	一九壬辰	一八辛卯	一七庚寅	一六己丑	一五戊子	一四丁玄	一旦丙戌	一二乙酉	一一甲申	一〇英末	九壬午	へ辛 巳	中爽殿
一四三九八	Z	E	프	=	=	=	=	므	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	-	-	_	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

永

千々和到氏 - 東国における仏教の中世的展開」(一)
 日下部朝一郎氏 - 石佛入門」
 小沢国平氏 - 板碑原流考」(一)、日本歴史二八四号、二八五号 東中懇談会編 - 日本石仏事典」
 小沢国平氏 - 板碑入門」
 小沢国平氏 - 板碑入門」
 服部清五郎氏 - 板碑概説」

史学雑誌第八二編

成したものを使用東国板碑調査団(団長千々和実)が作東国板碑調査団(団長千々和実)が作

昭和五十二年二月三〇日発行

狭山市文化財調查報告VI

狭山市の青石塔婆(板碑)

編集 狭山郷土史研究部

発行 狭山市教育委員会

製版 南カレラアート 東京都新宿区山吹町二九五

(国力レラアート 電話(三六七)四三三八

東京地型社東京都文京区白山四一二六一七



